

株式会社 群馬銀行

個人投資家さま向け会社説明会

2026年8月31日

代表取締役頭取 深井彰彦



目次

I. 群馬銀行の概要・業績

群馬銀行の概要	4 頁
収益性・健全性の状況	5 頁
当行のバリュエーション	6 頁
株主還元	7 頁
株主優待制度	8 頁

(ご参考)

新金融グループの概要と理念	13 頁
シナジー（規模×ノウハウ）	14 項
新金融グループの計数計画	15 頁

(参考) 群馬県と新潟県の概要	16 頁
-----------------	------

II. 第四北越フィナンシャルグループ との経営統合に関する進捗状況

経営統合の概要	10 頁
両社の概要	11 頁
業界内での立ち位置	12 頁

I.群馬銀行の概要・業績

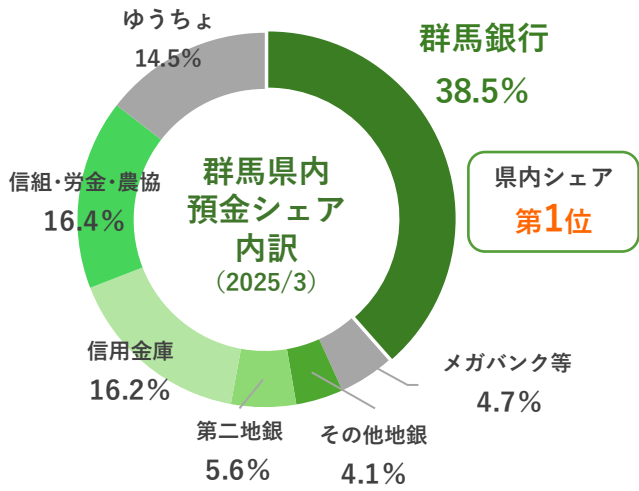
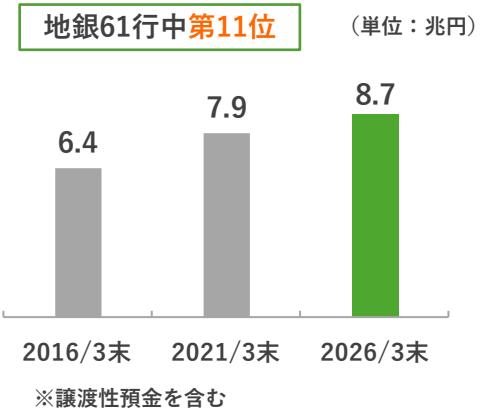
群馬銀行の概要

プロフィール

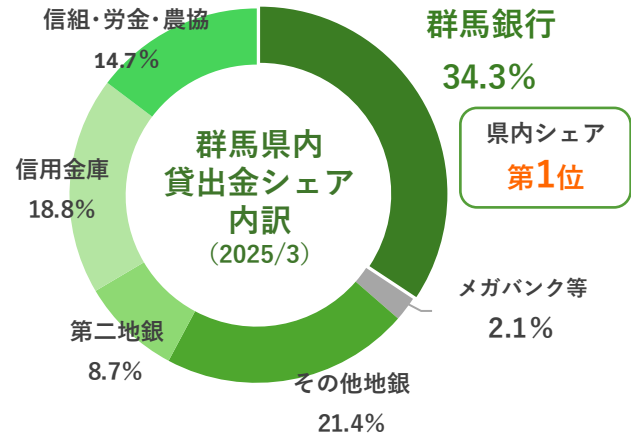
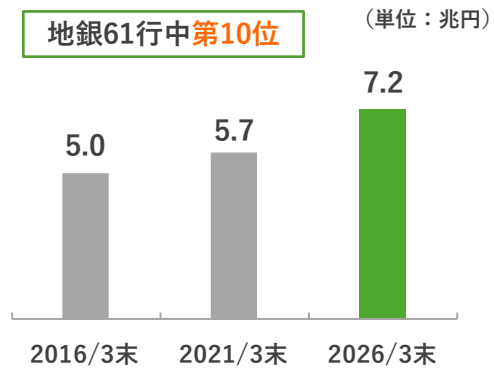
商号	株式会社群馬銀行
本店所在地	群馬県前橋市
上場	東証プライム（8334）
設立	1932年9月（営業開始11月）
代表者	代表取締役頭取 深井彰彦
従業員数	4,147人（連結）※臨時雇用含む
資本金	486億円
発行済株式数	395,888千株
総資産	10兆8,837億円（連結）
純資産	6,324億円（連結）
格付	AA（JCR）、A+（R&I） A3（Moody's）、A－（S&P）
拠点数	国内：160か店 海外：4拠点
グループ会社	ぐんぎん証券、ぐんぎんリース 群銀カード、群馬信用保証 ぐんま地域共創パートナーズ ぐんぎんコンサルティング 他3社

※2026年6月末現在

預金等の状況

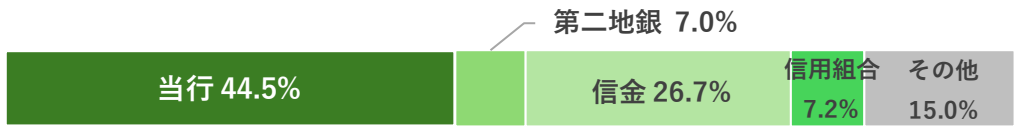


貸出金の状況



出所：金融ジャーナル

メインバンク社数の群馬県内シェア

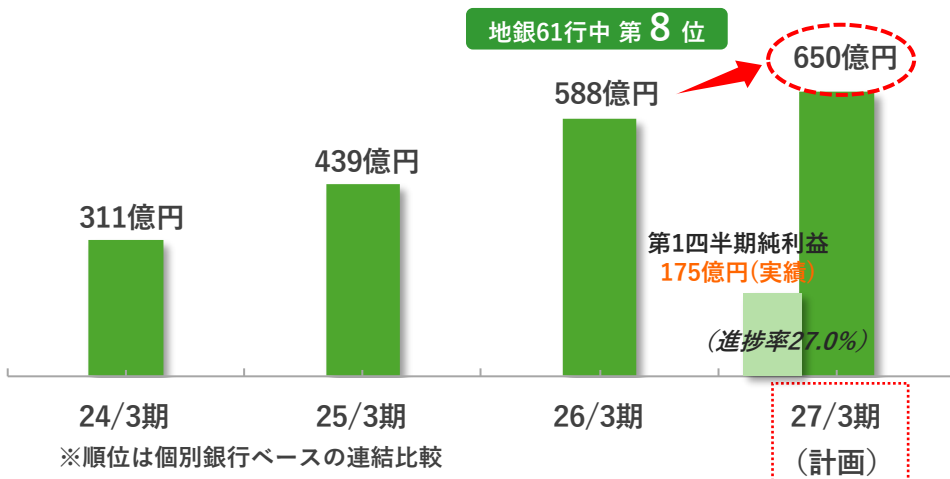


出所：帝国データバンク『群馬県内企業「メインバンク」動向調査(2025年)』

収益性・健全性の状況

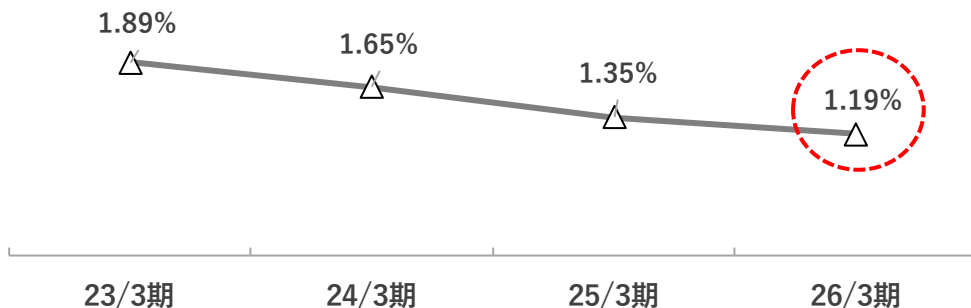
連結当期純利益の推移

- ・3期連続で最高益を更新。今期は650億円を見込む。
→中期経営計画最終年度（28/3期）の利益目標600億円を1年前倒しでの達成をめざす。



不良債権比率（連結）の推移

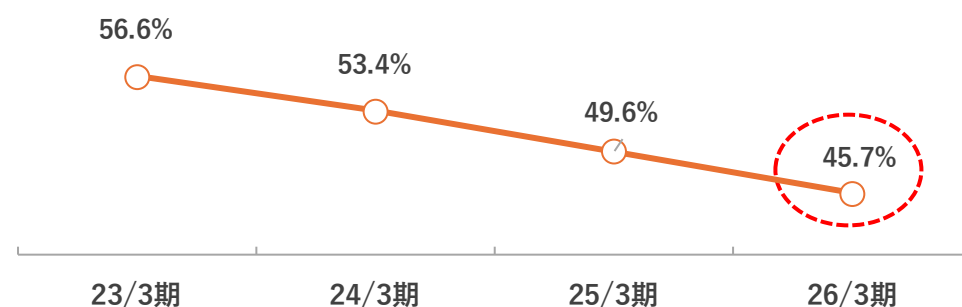
- ・金融再生法開示債権（破産更生債権等、危険債権、要管理債権）の総与信に占める割合。
- ・不良債権比率は低下傾向。地銀平均を下回っており他行比優位。



OHR（連結）の推移

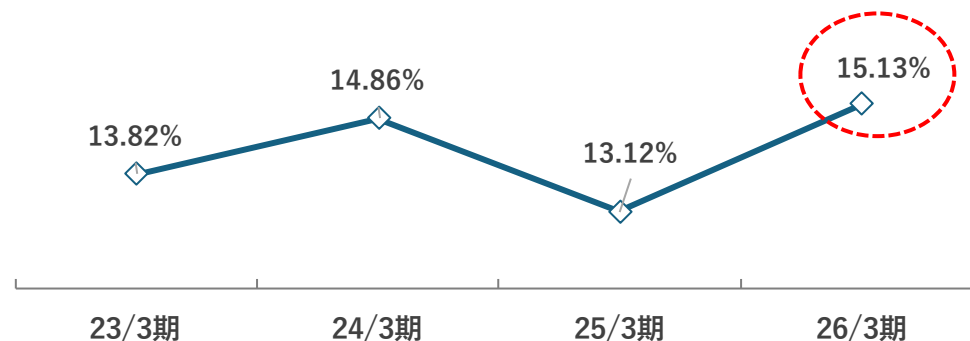
- ・連結OHRは改善傾向が続き地銀上位の水準。

※連結OHR = 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券関係損益 - 投信解約損益)



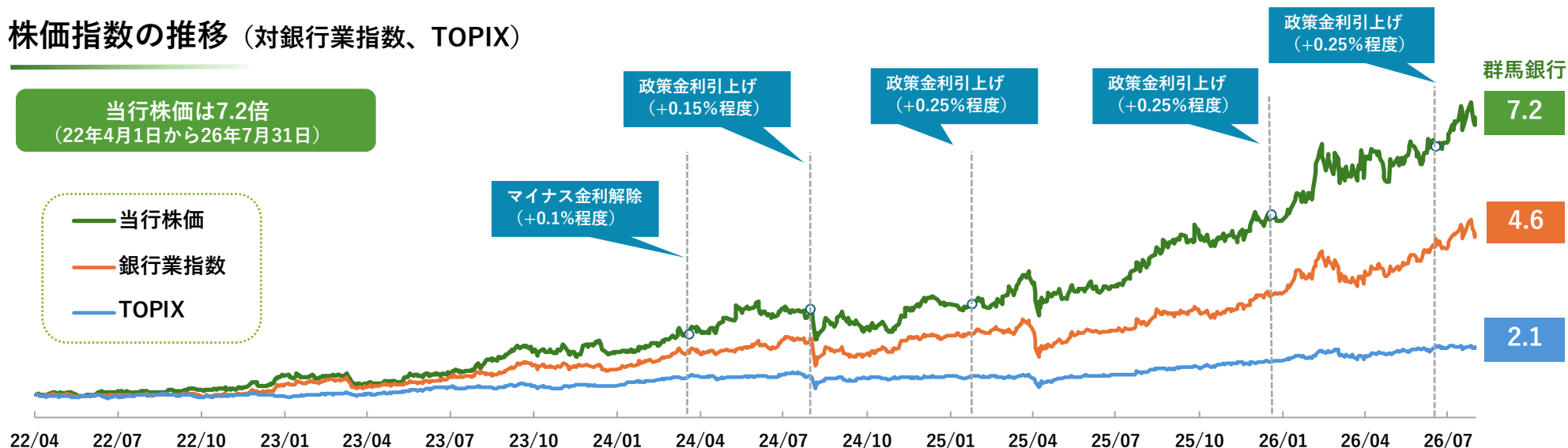
自己資本比率（連結）の推移

- ・自己資本比率は高水準を維持し健全性は高い。
- ・海外に営業拠点を有する当行は国際基準行として8%以上の水準が求められる。（国内基準行は4%）



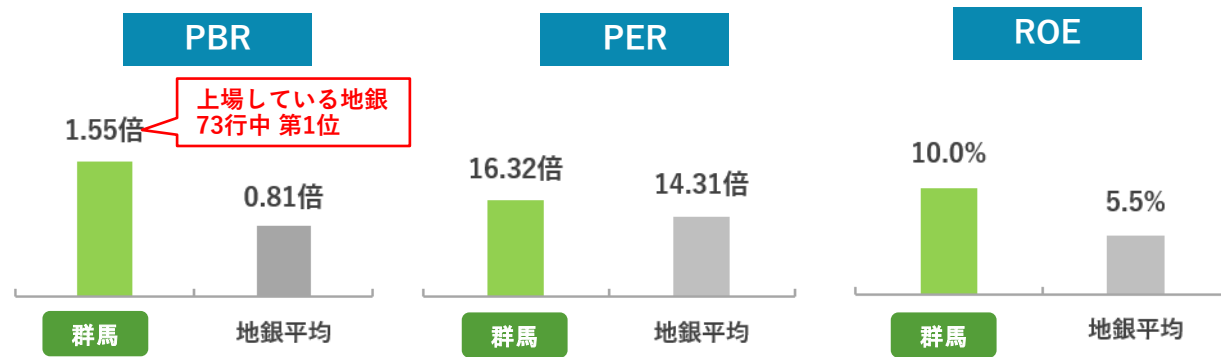
当行のバリュエーション

株価指数の推移（対銀行業指数、TOPIX）



※前中期経営計画を開始した22年4月1日を基準日として作成（26年7月31日現在）

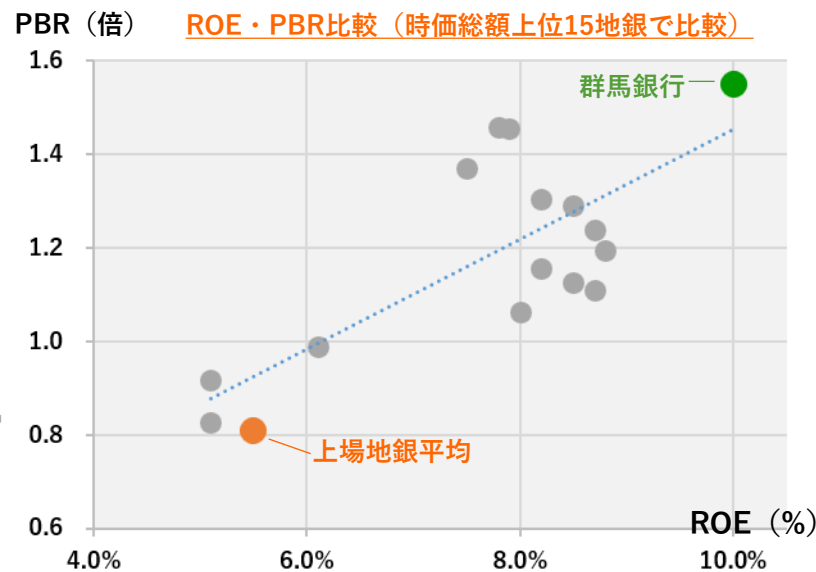
バリュエーション地銀比較



PBR＝株価÷1株当たり純資産
東証はPBR1倍割れを改善要請

PER＝株価÷1株当たり純利益
PERが低いほど株価は割安

ROE＝純利益÷純資産
数値が高いほど経営効率が良い



※PBR・PERは7月31日時点の株価で計算 ※純利益・純資産は26年3月期をベースに計算 ※ROEは26年3月期ベース

※ROEは26/3期、株価は7月31日終値、上場地銀平均は73行平均

株主還元

株主還元方針

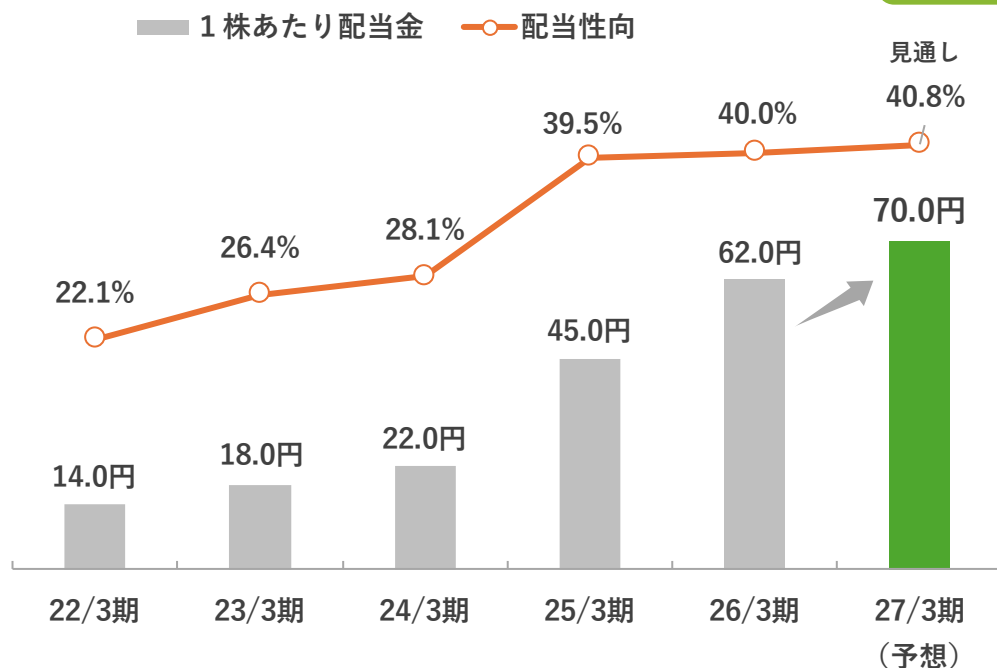
- 累進配当を基本とし、配当性向は40%を目安とする。
- 自己株式の取得は、資本水準や資本効率、成長投資機会や市場動向を踏まえて機動的に実施する。

● 1株あたり配当金

1株あたり配当予想は
前期比8円増配の年間70円（中間35円/期末35円）

6期連続
増配

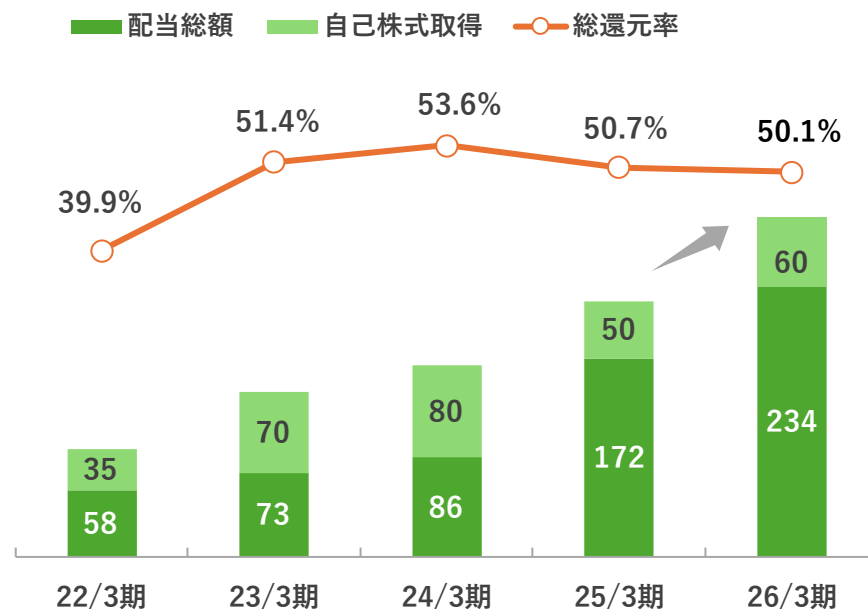
5年間で1株
当たり配当金は
5.0倍



● 株主還元

総還元率（配当+自己株式取得）は50%を超えて推移

（単位：億円）



株主優待制度

※経営統合後は新FGとして継続（27年3月末基準は群馬銀行として優待を実施）

優待制度の内容

少額投資で優待スタート
(300株以上～1,000株未満保有)

群馬県特産品（1,000円相当）贈呈

長期保有株主には優遇措置
(1,000株以上保有の株主様が対象)

3年以上継続保有で優待ランクアップ



26年6月はラスクを贈呈



優待制度拡充により、地元の出品者様に対する商品PRや売上にも貢献



オンラインで簡単申込
利便性向上！



<制度の仕組み>

優待品
グレード

優待品カタログ



『群馬銀行オリジナルカタログ』又は『TSUBASAアライアンスによる共同カタログ』のいずれかから選択

群馬県特産品
(1,000円相当)

3年以上	4,000円相当 カタログ
3年未満	2,500円相当 カタログ

3年以上	6,000円相当 カタログ
3年未満	4,000円相当 カタログ

3年以上	6,000円相当カタログ +2,000円分 商品券
3年未満	6,000円相当カタログ

長期保有の判定は、基準日（3月末）を起点に過去に遡って行います。

| 300株～

| 1,000株～

| 5,000株～

| 10,000株～

株数

II. 第四北越フィナンシャルグループとの経営統合に関する進捗状況

経営統合の概要

株式交換について

経営統合前



※ 群馬銀行の普通株式1株に対して、第四北越フィナンシャルグループの普通株式1.125株を割当て交付。

【株式交換の日程】

26年 3月26日	両社取締役会決議 株式交換契約書 及び 経営統合契約書の締結
26年 9月30日 (予定)	両社の臨時株主総会に係る基準日
26年12月23日 (予定)	両社臨時株主総会開催
27年 3月29日 (予定)	群馬銀行株式の最終売買日
27年 3月30日 (予定)	群馬銀行の上場廃止日
27年 4月 1日 (予定)	株式交換の効力発生日

経営統合後



- 群馬銀行と第四北越銀行の合併は予定していない。
- 両行ともに統合持株会社の子会社として現状の営業を継続。また、経営統合を契機とした店舗の統廃合は予定していない。
- 両行の商号やコーポレートマーク、本店所在地等は変更なし。
- 経営統合後はグループストラクチャーの最適化を図り経営の高度化を目指していく。

両社の概要

・地方銀行トップクラスの金融グループへ

	 群馬銀行	 第四北越 フィナンシャルグループ
本店所在地	群馬県前橋市	新潟県新潟市
設立・創立（銀行）	設立 1932年9月	創立 1873年11月
総資産（連結）	10兆8,559億円	10兆8,402億円
預金等残高	8兆7,891億円	8兆7,325億円
貸出金残高	7兆2,261億円	5兆9,150億円
預かり資産残高（連結）	1兆4,870億円	1兆8,749億円
当期純利益（連結）	588億円	421億円
時価総額	7,806億円	4,905億円
従業員数（連結）	2,899人	3,456人
拠点数（銀行）	国内103拠点 海外4拠点	国内134拠点 海外1拠点
グループ会社	<金融分野> 銀行、証券、リース、 カード、信用保証、 ファンド運営 <非金融分野> コンサルティング・ 地域商社、システム、 輸送・保守	<金融分野> 銀行、証券、リース、 カード、信用保証、 ファンド運営 <非金融分野> コンサルティング・ 調査、システム、 人材紹介、地域商社

※2026年3月末時点

新金融グループ （単純合算）  群馬新潟 フィナンシャルグループ	
総資産（連結）	21兆6,962億円
預金等残高	17兆5,216億円
貸出金残高	13兆1,411億円
預かり資産残高（連結）	3兆3,619億円
当期純利益（連結）	1,009億円
時価総額	1兆2,711億円
従業員数（連結）	6,355人
拠点数（銀行）	国内237拠点 海外5拠点
グループ会社 （事業領域）	11事業
 群馬銀行 群馬県内シェア	預金等シェア 38% 貸出金シェア 34%
 第四北越銀行 新潟県内シェア	預金等シェア 43% 貸出金シェア 50%

※県内シェア：（出所）金融ジャーナル「金融マップ 2026年版」
（2025年3月末）

業界内での立ち位置

上場地銀73行・グループで比較。経営統合により各項目でトップ5圏内の規模となる。

総資産 4位		預金 5位		貸出金 5位		連結純利益 3位		ROE 4位		ROA 10位		時価総額 4位	
(単位：兆円)		(単位：兆円)		(単位：兆円)		(単位：億円)						(単位：億円)	
1 ふくおか	33.5	1 ふくおか	21.6	1 ふくおか	20.3	1 横浜	1,065	1 スルガ	11.2%	1 スルガ	0.99%	1 横浜	20,837
2 横浜	25.6	2 横浜	20.8	2 横浜	17.6	2 千葉	1,026	2 東京きらぼし	10.6%	2 富山第一	0.91%	2 千葉	20,538
3 千葉	24.6	3 千葉	19.8	3 千葉	16.5	(3) 群馬新潟	1,009	3 群馬	10.0%	3 京都	0.81%	3 しずおか	18,059
(4) 群馬新潟	21.6	4 めぶき	17.8	4 めぶき	13.9	3 京都	967	4 四国	9.9%	4 いよぎん	0.79%	(4) 群馬新潟	16,466
4 めぶき	21.1	(5) 群馬新潟	17.0	(5) 群馬新潟	12.9	4 しずおか	904	(4) 群馬新潟	9.1%	5 東京きらぼし	0.59%	4 めぶき	14,955
5 ほくほく	16.9	5 ほくほく	14.3	5 しずおか	11.1	5 ふくおか	854	5 紀陽	9.0%	6 しずおか	0.57%	5 ふくおか	14,213
6 しずおか	16.0	6 しずおか	12.2	6 ほくほく	10.6	6 めぶき	841	6 いよぎん	8.8%	7 群馬	0.55%	6 京都	13,428
7 西日本	13.8	7 北洋	11.1	7 西日本	10.2	7 いよぎん	742	7 京都	8.7%	8 七十七	0.52%	7 八十二長野	11,864
8 八十二長野	13.5	8 九州	10.5	8 九州	9.2	8 八十二長野	645	8 ほくほく	8.7%	9 四国	0.51%	8 いよぎん	10,995
9 九州	13.5	9 西日本	10.4	9 山口	8.9	9 ほくほく	588	9 富山第一	8.6%	10 八十二長野	0.48%	9 群馬	10,083
10 北洋	13.2	10 山口	10.2	10 ひろぎん	8.1	10 群馬	588	10 七十七	8.5%	(10) 群馬新潟	0.47%	10 ほくほく	9,721
11 山口	13.1	11 京都	9.5	11 北洋	8.0	11 七十七	540	11 ふくおか	8.5%	11 横浜	0.42%	11 七十七	8,343
12 ひろぎん	12.2	12 八十二長野	9.5	12 京都	7.5	12 ひろぎん	437	12 ひろぎん	8.2%	12 千葉	0.41%	12 ひろぎん	6,786
13 京都	11.8	13 ひろぎん	9.4	13 群馬	7.1	13 東京きらぼし	423	13 めぶき	8.2%	13 めぶき	0.40%	13 西日本	6,462
14 ちゅうぎん	11.3	14 七十七	8.9	14 ちゅうぎん	6.7	14 第四北越	421	14 第四北越	8.0%	14 第四北越	0.39%	14 第四北越	6,382
15 群馬	10.8	15 群馬	8.5	15 八十二長野	6.7	15 西日本	401	15 横浜	7.9%	15 おきなわ	0.38%	15 九州	6,323
16 第四北越	10.8	16 第四北越	8.5	16 七十七	6.6	16 ちゅうぎん	397	17 しずおか	7.5%	16 阿波	0.38%	16 山口	6,156
17 七十七	10.4	17 ちゅうぎん	8.4	17 いよぎん	6.1	17 九州	376	16 千葉	7.4%	17 紀陽	0.36%	17 ちゅうぎん	6,050
18 いよぎん	9.5	18 いよぎん	6.7	18 第四北越	5.8	18 スルガ	347	18 おきなわ	7.1%	18 十六	0.36%	18 滋賀	5,886
19 山陰合同	9.0	19 山陰合同	6.4	19 山陰合同	5.4	19 山口	330	19 池田泉州	7.1%	19 ひろぎん	0.36%	19 百五	5,189
20 滋賀	7.6	20 十六	6.3	20 東京きらぼし	5.2	20 十六	273	20 山陰合同	7.1%	20 百五	0.36%	20 東京きらぼし	4,929

※時価総額（26年8月12日株価）を除き、各項目とも26年3月期(末)基準。単位未満は切り捨て。連結ベースの計数で表示。

※「群馬新潟」は当行と第四北越FGとの単純合算を表示（順位を括弧書きで表示）。

※「千葉」は、千葉銀行と千葉興業銀行との単純合算を表示（両社は2027年4月に「ちばFG」を発足予定）。

(ご参考) 新金融グループの概要と理念

経営統合の概要

商号 株式会社 群馬新潟フィナンシャルグループ
Gunma Niigata Financial Group, Inc. (GNFG)

代表者 (予定) 代表取締役会長 殖栗 道郎
(現 第四北越フィナンシャルグループ 代表取締役社長)
代表取締役社長 (グループCEO) 深井 彰彦
(現 群馬銀行 代表取締役頭取)

本店 東京都千代田区丸の内1丁目8番2号
所在地 (鉄鋼ビルディング)

【コーポレートマーク】



群馬の大地をかたどるツルと、新潟の空に舞うトキが、
大空で出会い、新たな旅路へと向かう姿をロゴデザインに。
県の垣根をこえ、地域と未来をつなぎ、
金融の枠を超えた価値を提供していく姿勢を表現しました。

GNFG



* 両社従業員からの3,400件超のアンケート (新金融グループが「目指すべきこと」や「大切にすべき価値観」) 結果をもとに両社で議論を尽くして決定。

新金融グループの理念

MISSION (存在意義)

ふたつの翼で、地域の未来を創る

VISION (ありたい姿)

信頼を礎に、金融の枠を超え、価値をつなぎ、
リージョナルソリューショングループへ

VALUES (わたしたちの価値観)

四方共益

お客さま・地域、会社、仲間、株主、すべての豊かさの向上を
目指して行動します

誠実

プロフェッショナルとして誠実に取り組み、揺るぎなき信頼を
積み重ねていきます

挑戦

失敗を恐れずに挑戦し続け、地域の未来へ新たな風を
起こします

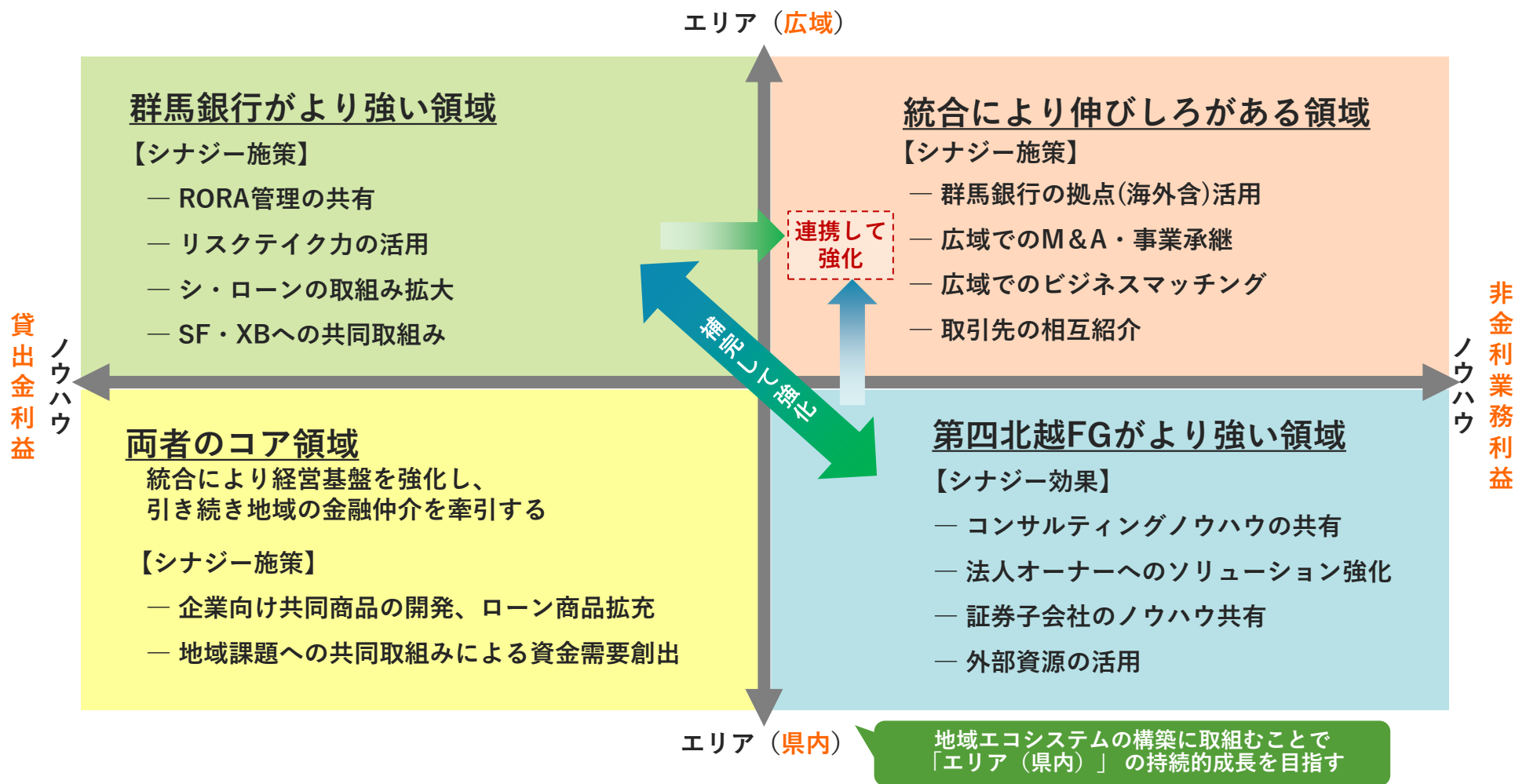
共創

地域を超えてヒト・モノ・コトをつなぎ、ソリューションの力で
新たな価値を生み出します

(参考) シナジー (規模 × ノウハウ)

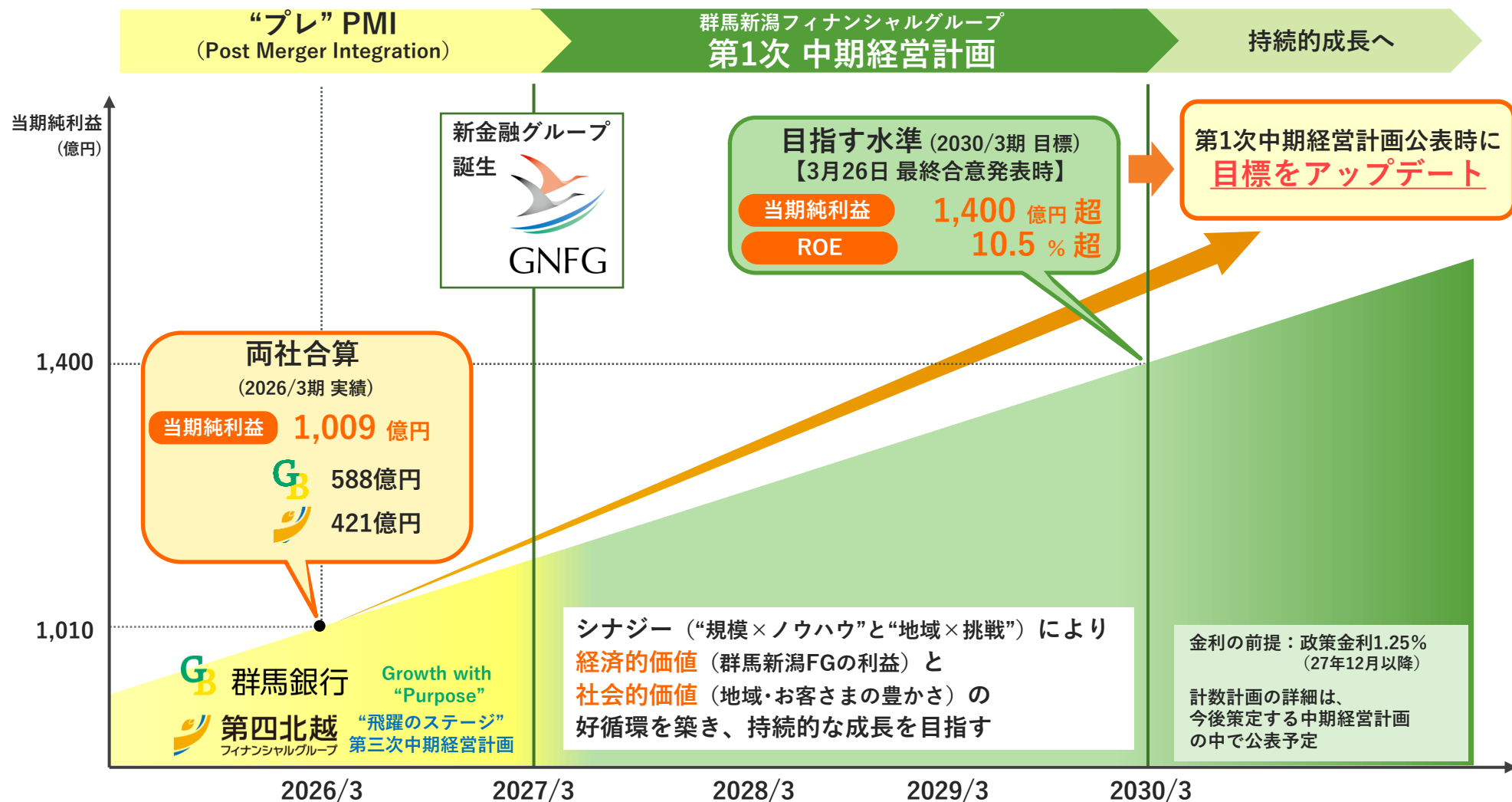
規模 × ノウハウ = シナジー

経営統合による**規模拡大**（営業エリア、総資産、リスクテイク力、人的資本等）と、お互いの強み（**ノウハウ**）を融合し、資金利益・非金利業務利益の拡大（**トップラインシナジー**の発揮）を図る。



(ご参考) 新金融グループの計数計画

本経営統合の狙いの一つである「トップラインシナジーの最大化」を図り、2030年3月期（統合3年後）の
当期純利益1,400億円超、**ROE10.5%超**を目指す。



(参考) 群馬県と新潟県の概要

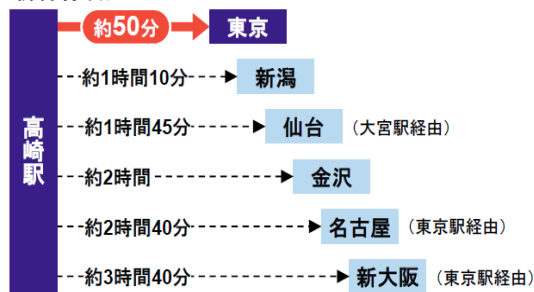
群馬県の魅力 (Gunma Power)

出所： 群馬県「群馬県のIR資料(令和8年6月)」 一部加工
経済産業省統計表「都道府県別発電所数・出力」

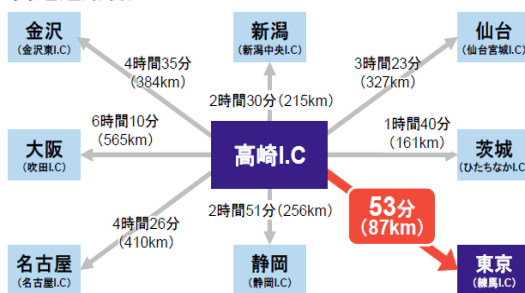
発達した交通網

- 本州のほぼ中央
- 首都東京から約100kmに位置
- 新幹線・高速道路いずれも東京まで約50分で移動可能
- 首都圏からの距離を活かし、工場や物流拠点の立地に有利（自然災害の少なさも寄与）

新幹線利用



高速道路利用



少ない自然災害

- 関東で最も地震が少ない（統計上、約100年で震度4以上は78回）
- 自然災害（地震、水害、土砂災害等）の罹災世帯数が関東で最少
- 首都圏バックアップ拠点としての役割

恵まれた地域資源

- 再生可能エネルギーの宝庫（年間の日照時間は全国2位）
- 水資源が豊富（水力発電の最大出力は全国6位）※26年4月現在
- 農畜産物の生産に適した環境（キャベツ・こんにゃくも等が名産）
- 首都圏の台所として、多彩な農業や食料品製造が盛ん

魅力あふれる観光資源

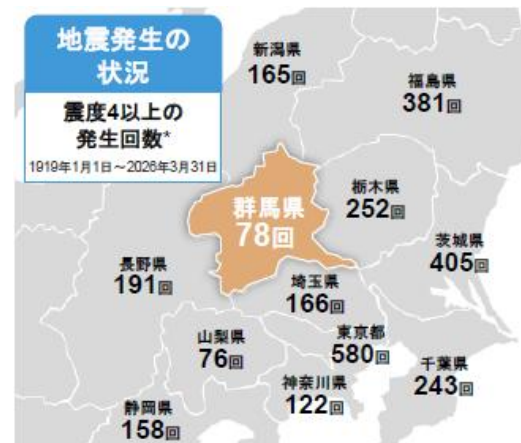
- 2014年「富岡製糸場」世界遺産登録
- 草津温泉「にっぽんの温泉100選」23年連続1位
- 尾瀬は全域が国立公園の特別地域

近年の群馬県への主な投資動向（2026年6月現在）

年	事業者名	概要
2022	NTT	本社機能一部移転（高崎市）
	デロイトトーマツG	新オフィス開設（前橋市）
2023	アクセンチュア	新オフィス開設（前橋市）
	日本ミシュランタイヤ	本社移転（太田市）
2024	IHエアロスペース	本社移転（富岡市）
	ジンズHD	サテライトオフィス（前橋市）
2025	SUBARU	新完成車工場（BEV）建設着手（大泉町）
	ツムラ	新工場追加用地取得（明和町）
2026	信越化学工業	新工場竣工（伊勢崎市）

【自然災害による罹災世帯数】 （2014年～2024年）

順位	都道府県	罹災世帯数
1	群馬県	459
2	東京都	2,298
3	神奈川県	3,028
4	埼玉県	5,803
5	栃木県	7,310
6	千葉県	8,658
7	茨城県	8,718



被害(少)

被害(多)



草津温泉（湯煙）



富岡製糸場

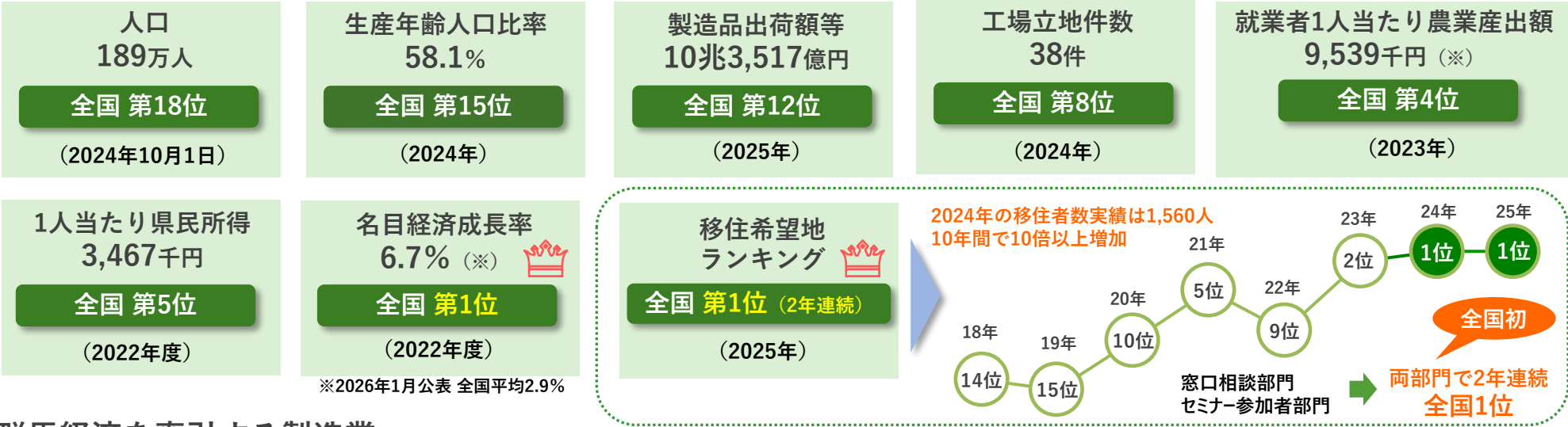


尾瀬国立公園



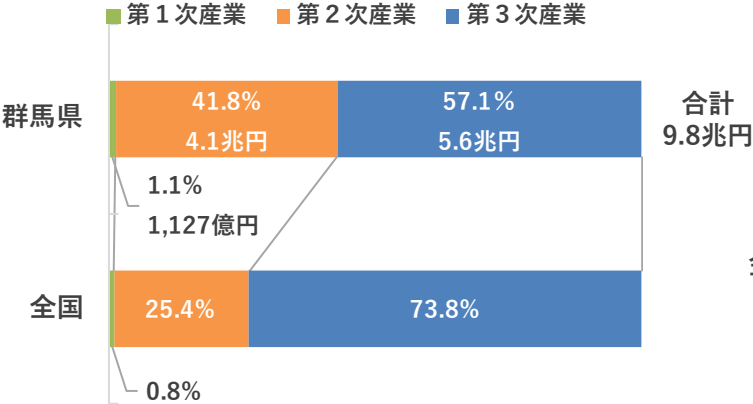
嬢恋キャベツ

群馬県の主要データ

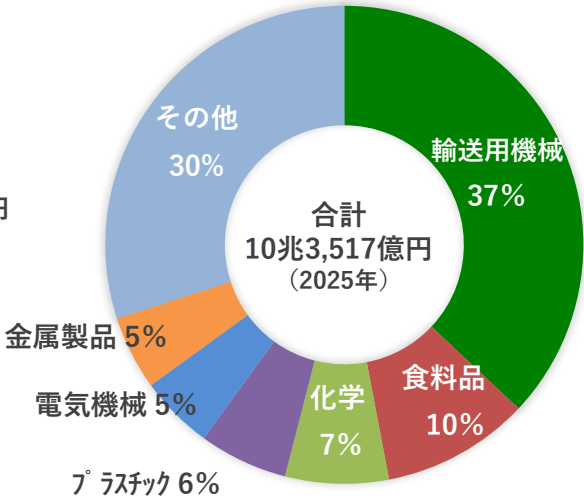


群馬経済を牽引する製造業

- 産業別名目県内総生産
 - ・ 県内総生産9.8兆円のうち、約4割が第2次産業
 - ・ 群馬県は全国で見ても第2次産業の割合が高い



- 製造品出荷額等の内訳
 - ～輸送用機械が大きな割合を占める～



- 輸送用機械生産比率
 - ・ 製品出荷額に占める輸送用機械の割合は全国3位と高い

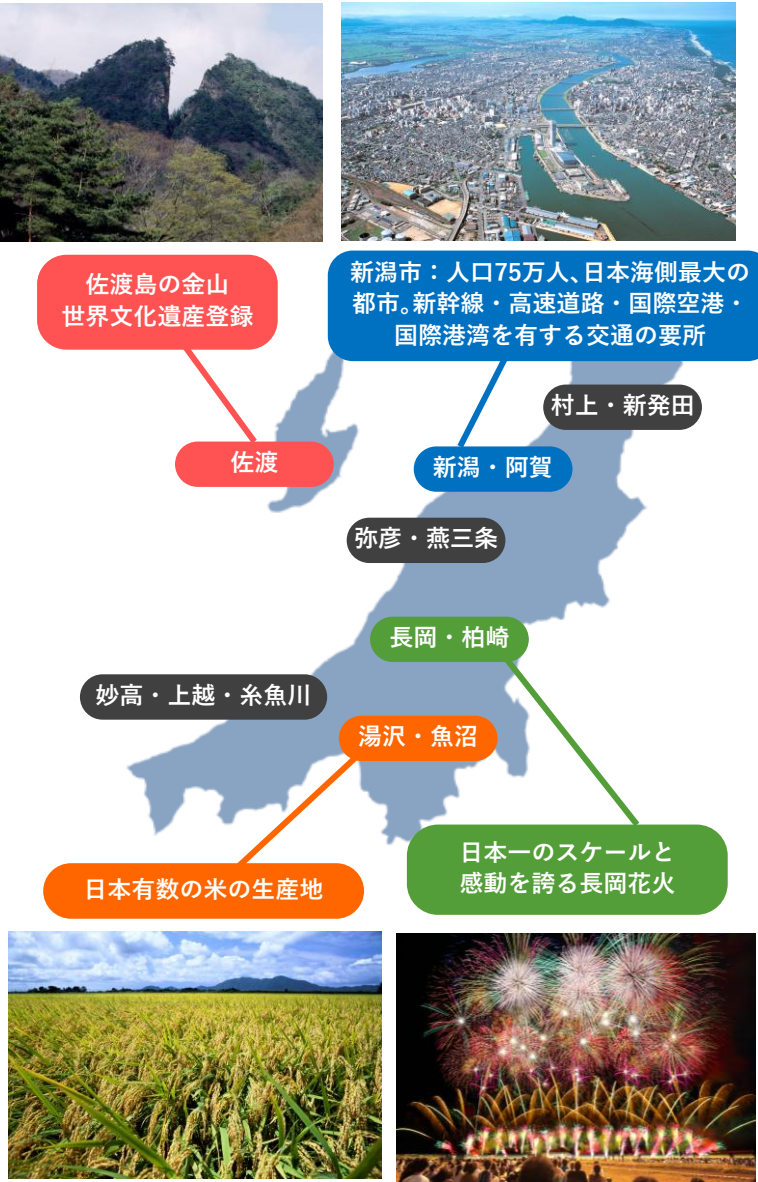
順位	都道府県	生産比率
1	愛知県	57.3%
2	広島県	37.1%
3	群馬県	36.5%
4	福岡県	35.4%
5	三重県	26.2%
6	岩手県	25.4%
7	静岡県	25.3%
8	山口県	24.0%
9	神奈川県	21.7%
10	長崎県	21.7%

※2025年「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

新潟県の概要・特徴

出所：新潟県「新潟県の財政状況（2025年12月）」

新潟県の主なエリア



新潟県の主なデータ

人口 210万人 全国 第15位 (2024年)	名目県内総生産 9兆429億円 全国 第15位 (2022年)	総面積 12,584km ² 全国 第5位 (2024年)
製造品出荷額等 5兆6,115億円 全国 第26位 (2025年)	農業産出額 2,281億円 全国 第14位 (2023年)	道路延長 6,667km 全国 第2位 (2022年)

新潟県が全国1位の分野

米の産出額 1,319億円 (2022年)	米菓出荷額 1,592億円 (2022年)	清酒製造免許場数 101場 (2023年)
金属洋食器出荷額 131億円 (2022年)	石油ストーブ出荷額 432億円 (2022年)	新幹線駅数 7駅 (2024年)

新潟県が全国2位の分野

耕地面積 167,200ha (2023年)	栽培きのこと類産出額 418億円 (2022年)	建設業従業者数(10万人当たり) 4,327人 (2021年)
---------------------------	-----------------------------	------------------------------------

新潟県の産業、両県のポテンシャル

産業構造

出所：にいがた企業立地ガイド2026-2027

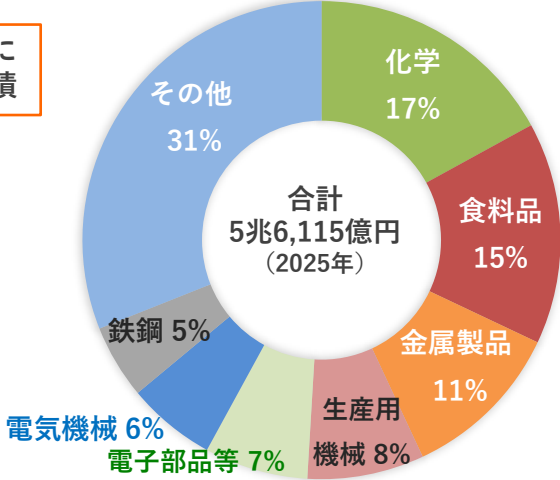


豊かな食料資源を活用した**食料品**や燕・三条地域における国内屈指の**金属製品**など、多様な産業が集積

新潟県本社の上場企業（プライム市場）※一例
コメリ（新潟市）※ビバホーム等
アークランズ（三条市）※フレッセイ等
アクシアルリテイリング（長岡市）
ハードオフコーポレーション（新発田市）
北越コーポレーション（長岡市）※紙・パルプ
亀田製菓（新潟市）※米菓製造
ユキグニファクトリー（南魚沼市）※きのこ事業

製造品出荷額等

出所：2025年経済構造実態調査



群馬・新潟の両県合算の市場規模と成長ポテンシャル

両県合算の規模はどれも10位前後と大きなマーケット

人口（万人） （2024年 総務省統計局）		名目県内総生産（兆円） （2022年内閣府県民経済計算）		民営事業所数（千所） （2021年 経済センサス調査）		税収（億円）*県民税+法人事業税 （2024年 総務省）		預金残高（兆円） （2025年 ニッキン調査）	
1 東京	1,419	1 東京	120.2	1 東京	628	1 東京	18,247	1 東京	446.0
2 神奈川	922	2 大阪	43.1	2 大阪	384	2 愛知	5,741	2 大阪	117.1
3 大阪	877	3 愛知	43.1	3 愛知	299	3 大阪	5,561	3 愛知	93.4
4 愛知	747	4 神奈川	35.2	4 神奈川	285	4 神奈川	3,763	4 神奈川	84.4
5 埼玉	733	5 埼玉	24.7	5 埼玉	230	5 福岡	2,163	5 埼玉	62.0
6 千葉	628	6 兵庫	23.5	6 北海道	216	6 埼玉	2,119	6 兵庫	54.0
7 兵庫	534	7 千葉	21.4	7 福岡	210	7 兵庫	2,080	7 千葉	52.6
8 福岡	510	8 北海道	20.9	8 兵庫	203	8 千葉	1,990	8 福岡	43.1
9 北海道	504	9 福岡	20.2	(9) 群馬+新潟	188	9 北海道	1,709	9 北海道	42.4
(10) 群馬+新潟	399	(10) 群馬+新潟	18.8	9 千葉	182	(10) 群馬+新潟	1,701	(10) 群馬+新潟	37.9
10 静岡	352	10 静岡	18.2	：	：	10 静岡	1,701	10 静岡	37.7
：	：	：	：	14 新潟	103	：	：	：	：
15 新潟	210	14 群馬	9.8	：	：	15 群馬	882	17 新潟	19.8
：	：	：	：	18 群馬	85	16 新潟	819	：	：
18 群馬	189	17 新潟	9.0	：	：	：	：	19 群馬	18.0
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部（IR担当）

TEL：027-254-7051・7053

E-mail：gbir@gunmabank.co.jp